***注）本頁は、申請書の表紙（１頁目）です。***

***本頁中の注釈（斜体文字）は、申請の際に削除***

様式５

（３Ｒ製品開発）

***ください。***

秘

　　　　　　資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）

*注）奨励賞にご応募の場合にのみ記載してください。↑*

平成　　年 月 日

一般社団法人産業環境管理協会　御中

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  ①会社名又は事業所名 | （印） | | | | | | |
| ②〒、所在地、電話番号 |  | | | | | | |
| （ふりがな）  ③代表者　役職、氏名 | （印） | | | | | | |
| ④資本金又は基本財産 | 百万円 | ⑤従業員数 | | 人 | ⑥出荷額 | | 百万円／年 |
| （ふりがな）  ⑦連絡者　所属部署、  役職、氏名、電話番号、  ＦＡＸ番号、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 電 話  　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ  　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail  住所*（②の所在地と同じ場合は省略可）* | | | | | | |
| ⑧申請テーマ名（ふりがな）  *（申請内容を端的に表現する*  *テーマ名を付けてください）* |  | | | | | | |
| ⑨資源循環型製品の品目名 |  | | ⑩資源循環型製品の  　生産台数  （または生産量） | | | 台／年  　　　　　 （ｔ／年） | |
| ⑪資源循環型製品の販売台数  　（又は販売量） | 台／年  （ｔ／年） | | ⑫資源循環型製品の  　販売額 | | | 万円／年 | |
| ⑬資源循環型製品の  　製造開始年月 |  | | ⑭資源循環型製品の  　製造継続年数 | | |  | |
| ⑮本制度に係る過去の表彰  　実績*（受賞年度、賞の種類*） |  | | ⑯他の制度による  　過去の表彰実績  （*名称、受賞年度，*  *賞の種類）* | | |  | |
| ⑰所属団体名 |  | | ⑱本表彰の募集を何  　で知りましたか  *（具体的に）* | | |  | |
| ⑲申請内容、関連事項の公表実績*（ホームページ名称・URL、出版物名等）* |  | | | | | | |

***注）本頁は、本文（２頁目以降）記述要領の説明です。***

***以下の項目について、申請テーマの事業内容とその特徴を記述ください。***

***該当なしの場合は、「該当なし」と記述ください。***

***また、追加項目があれば、追加ください。***

***なお、本注釈は、申請の際には削除ください。***

１．要旨

２．当該資源循環型製品はどのような製品か（名称、機能、大きさ、形態、特徴等）

３．当該資源循環型製品が開発される以前はどのような問題があったか。

４．当該資源循環型製品における工夫内容

４－１リデュース関連

　 (1) 省資源化設計による廃棄物発生抑制に関する工夫

　　(2) 長寿命化設計による廃棄物発生抑制に関する工夫

　　(3) 容器・梱包・包装の簡易化による廃棄物発生抑制に関する工夫

　４－２リユース促進関連

　　(1) 当該製品のリユース容易化に関する工夫

　(2) 当該製品におけるリユース部品の使用実績

　　(3) 容器・梱包・包装のリユースに関する工夫

４－３リサイクル促進関連

　　(1) 当該製品のリサイクル容易化に関する工夫

　　(2) 当該製品におけるリサイクル材料の使用実績

　(3) 容器・梱包・包装のリサイクルに関する工夫

４－４最終的な処理・処分に関する配慮

　(1) 処理・処分の容易化に関する配慮

　(2) 処理・処分時の環境保全に関する配慮

　(3) 処理・処分時の安全性に関する配慮

４－５その他の工夫・配慮

５．製品の性能や安全性等への配慮

６．特許等の有無

７．技術・システムのポイント、新規性、他社の同種製品との相違点

８．資源循環型製品の生産・販売状況

　(1) 資源循環型製品の生産台数・販売台数の推移

　(2) 全生産品目に占める資源循環型製品の比率

９．資源循環型製品の普及・活用に関する取組

　(1) 関係者に対する情報の提供・ＰＲ

　(2) 修理・点検やアップグレードに係るサービス体制の整備

　(3) 使用済み製品の回収システム

　(4) 使用済み製品のリユース方法

　(5) 使用済み製品のリサイクル方法

１０．資源循環型製品の開発・普及による効果

１１．今後の動向

　(1) 事業実施上の問題点と対応策

(2) 将来構想